



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名 佐世保重工業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 7007 URL <http://www.ssk-sasebo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯下 善文
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 澁谷 明幸 (TEL) 03(6861)7312
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,932	△39.5	297	△90.9	104	△96.7	△416	—
24年3月期第1四半期	18,065	115.1	3,262	187.9	3,209	201.4	1,850	5.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △698百万円(—%) 24年3月期第1四半期 1,835百万円(31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△2.60	—
24年3月期第1四半期	11.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	77,778	27,013	34.7
24年3月期	84,464	28,514	33.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 27,013百万円 24年3月期 28,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 平成25年3月期の配当金は未定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△39.5	△3,000	—	△3,300	—	△3,300	—	△20.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想については、業績目標管理を年次のみで行っているため開示していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	161,955,000株	24年3月期	161,955,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,486,685株	24年3月期	1,485,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	160,468,608株	24年3月期1Q	160,472,715株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、当社としてその実現を約束する趣旨のものではなく、この業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績等は様々な要因により、この業績見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。なお、実際の業績に影響を与える要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として国内景気は緩やかに回復しつつありますが、欧州債務危機問題や長期化する円高などにより企業業績の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況において当社グループは、連結受注高については新造船1隻を受注したことなどから前年同四半期比5.1%増加の5,216百万円となり、当第1四半期連結累計期間末の連結受注残高は前年同四半期比49.9%減少の43,171百万円となりました。連結売上高については、リーマンショック以降に受注した低船価の新造船の工事が進捗したことにより前年同四半期比39.5%減少の10,932百万円となり、損益面では、連結営業利益は前年同四半期比90.9%減少の297百万円、連結経常利益は前年同四半期比96.7%減少し104百万円となりました。これに加え、投資有価証券評価損等の特別損失及び法人税等を計上したことなどから416百万円の連結四半期純損失の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①船舶

船舶部門の受注高は、新造船として75千重量トンバルクキャリアー1隻を受注したほか、海上自衛隊、米海軍艦船及び一般商船等の修理工事等を加え4,073百万円となり、前年同四半期比24.8%増加しました。売上高はリーマンショック以降に受注した低船価の新造船の工事が進捗したことにより、前年同四半期比39.1%減少の9,964百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比94.5%減少の150百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間末の新造船の受注残は9隻となりました。

②機械

機械部門の受注高は、機器工事として船舶用機器や一般産業機械等で843百万円となり、前年同四半期比40.7%減少しました。売上高は海運市況の悪化に伴うクランク軸の価格低迷の影響などにより前年同四半期比53.6%減少の669百万円となり、セグメント利益は30百万円の損失となりました。

③その他

主な事業の内訳は給食事業その他で、受注高、売上高ともに前年同四半期比8.9%増加の299百万円となりました。セグメント利益は前年同四半期比49.9%減少の21百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末比6,096百万円減少し53,244百万円となりました。これは主として法人税等の支払などに伴う現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比589百万円減少し24,533百万円となりました。これは主として株式市況の下落に伴う投資有価証券の減少などによるものです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末比6,685百万円減少し77,778百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末比4,539百万円減少し28,613百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金及び未払法人税等の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比645百万円減少し22,151百万円となりました。これは主として長期借入金の返済に伴う減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比5,185百万円減少し50,764百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末比1,500百万円減少し27,013百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済につきましては、中国をはじめとした新興国経済の成長が鈍化することへの懸念や、欧米の経済回復の不安定化などにより景気の先行きは不透明な状況であります。また、低迷する海運市況の影響もあって新造船マーケットは厳しい状況が続くことが予想され、為替相場も依然として円高で推移していることや原材料価格の再上昇懸念など、当社を取り巻く環境は引き続き厳しいものになると考えられます。

このような厳しい事業環境に機敏に対応するために、当社としましては主力事業である新造船事業の操業を縮小する方針とし、低船価での無理な受注を避けると同時に固定費の大幅削減を実施し、修理船・機械事業ならびに新規事業を強化して、これまでの事業構造の変革を目指してまいります。

現時点においては、平成24年5月18日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
期中における重要な子会社の異動はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,881	31,578
受取手形及び売掛金	13,720	18,722
有価証券	40	40
商品及び製品	16	17
仕掛品	974	1,185
原材料及び貯蔵品	365	443
その他	1,342	1,258
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	59,340	53,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,660	8,528
土地	5,811	5,811
その他(純額)	7,303	6,940
有形固定資産合計	21,774	21,280
無形固定資産	178	227
投資その他の資産		
投資有価証券	2,981	2,592
その他	454	698
貸倒引当金	△265	△265
投資その他の資産合計	3,170	3,025
固定資産合計	25,123	24,533
資産合計	84,464	77,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,179	15,964
設備関係支払手形	179	157
短期借入金	5,376	5,234
未払法人税等	1,486	191
前受金	1,843	1,265
保証工事引当金	54	54
受注工事損失引当金	1,227	2,136
その他	4,807	3,609
流動負債合計	33,152	28,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
固定負債		
長期借入金	18,241	17,582
繰延税金負債	232	230
退職給付引当金	4,085	4,035
特別修繕引当金	50	51
その他	187	252
固定負債合計	22,797	22,151
負債合計	55,950	50,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,414	8,414
資本剰余金	5,148	5,148
利益剰余金	15,974	14,755
自己株式	△977	△977
株主資本合計	28,558	27,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	△264
繰延ヘッジ損益	△58	△61
その他の包括利益累計額合計	△44	△326
純資産合計	28,514	27,013
負債純資産合計	84,464	77,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,065	10,932
売上原価	14,228	10,057
売上総利益	3,837	874
販売費及び一般管理費	574	577
営業利益	3,262	297
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	32
その他	13	9
営業外収益合計	55	41
営業外費用		
支払利息	81	114
為替差損	17	113
その他	10	7
営業外費用合計	108	234
経常利益	3,209	104
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産処分損	8	1
投資有価証券評価損	47	108
その他	2	—
特別損失合計	63	110
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,146	△5
法人税、住民税及び事業税	1,358	176
法人税等調整額	△62	—
過年度法人税等	—	234
法人税等合計	1,296	411
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,850	△416
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,850	△416

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,850	△416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△278
繰延ヘッジ損益	—	△2
その他の包括利益合計	△15	△281
四半期包括利益	1,835	△698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,835	△698

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	船舶	機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,349	1,441	17,791	274	18,065	—	18,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	541	541	△541	—
計	16,349	1,441	17,791	815	18,607	△541	18,065
セグメント利益	2,765	303	3,068	43	3,112	150	3,262

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、ゴルフ場事業及び運輸事業等を含んでおります。
- 2 各セグメントに配分している一般管理費等の全社費用は予算金額を基に行っており、実際発生額との予算差異については配分しておりません。セグメント利益の調整額として計上している150百万円には、この予算差異を計上しております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	船舶	機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,964	669	10,633	299	10,932	—	10,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	398	398	△398	—
計	9,964	669	10,633	698	11,331	△398	10,932
セグメント利益又は損失(△)	150	△30	120	21	142	155	297

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、ゴルフ場事業及び運輸事業等を含んでおります。
- 2 各セグメントに配分している一般管理費等の全社費用は予算金額を基に行っており、実際発生額との予算差異については配分しておりません。セグメント利益の調整額として計上している155百万円には、この予算差異を計上しております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	14,773	89.5	10,172	89.3	△4,600	△31.1
機械	1,464	8.9	916	8.1	△548	△37.4
その他	274	1.6	299	2.6	24	8.9
合計	16,512	100.0	11,388	100.0	△5,124	△31.0

② 受注状況

(単位百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	3,265	65.8	4,073	78.1	808	24.8
機械	1,421	28.7	843	16.2	△577	△40.7
その他	274	5.5	299	5.7	24	8.9
合計	4,961	100.0	5,216	100.0	254	5.1

③ 受注残高

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成23年6月30日)		当連結会計年度末 (平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	83,053	96.5	41,073	95.1	△41,979	△50.5
機械	3,051	3.5	2,097	4.9	△953	△31.3
その他	—	—	—	—	—	—
合計	86,104	100.0	43,171	100.0	△42,933	△49.9

(注1) 受注残高は工事完成基準で記載しております。当第1四半期連結会計期間末の受注残高の内、船舶23,459百万円を、前第1四半期連結会計期間末の受注残高の内、船舶28,825百万円、機械77百万円を工事進行基準による売上高として計上しております。

(注2) 前連結会計年度末外貨建受注残高の為替レート変動による減少額512百万円は、当第1四半期連結会計期間末受注残高より減算しております。

④ 販売実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	16,349	90.5	9,964	91.2	△6,385	△39.1
機械	1,441	8.0	669	6.1	△772	△53.6
その他	274	1.5	299	2.7	24	8.9
合計	18,065	100.0	10,932	100.0	△7,133	△39.5